

付録 1

台風 16 号時の高潮による浸水被害に関する調査に用いた調査票

概要 調査票

* ご記入ください。

家屋及び家庭用品の水害等に関する調査票

I. あなたの住所等についてお尋ねします。

1. 差支えなければお名前をご記入ください。

記入者のお名前

2. 家屋の所在地をご記入ください。

家屋所在地	市区町村	丁目	番	号
-------	------	----	---	---

3. 世帯主の方のご職業は何ですか。該当するものの番号に○印をおつけ下さい。

1. 農業	2. 自営業(商店)	3. 自営業(飲食店)	4. 自営業(サービス業)
5. 自営業(製造業)	6. その他の自営業	7. サラリーマン	
8. 公務員	9. その他		

II. あなたの家屋についてお尋ねします。

1. 浸水を受けた家屋の概要について、次表のうち当てはまるものを○で囲み、また価格、面積については、数字でお答えください。

設問	回答(○で囲んでください)
1-1 家屋の構造	1. 木造(木造モルタル造含む) 2. 非木造(鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、コンクリートブロック造、その他)
1-2 階数	1. 平屋建 2. 2階建 3. 3階以上(階)
1-3 地階の有無	1. 有 2. 無
1-4 1階床の高さ	敷地から()cm
1-5 建て方	1. 1戸建 2. 長屋建 3. 共同住宅
1-6 用途	1. 専用住宅 2. 併用住宅
1-7 床面積	建築(建坪)面積()m ² 注:1坪は3.3m ² 延床面積 () m ²
1-8 築後年数	築()年
1-9 家屋価格	建築時、あるいは購入時()万円

※ 床面積は貸家も含む。

※ 建築(建坪)面積は1階部分の面積をさします。

2. 水害の状況についてお尋ねします。当てはまるものを○で囲み、()内は数字でご回答ください。

2-1 浸水深は?

1. 床下浸水	()cm
2. 床上浸水	()cm
家屋敷地面から	()cm

2-2 土砂の堆積深は?

家の中最大	()cm
-------	-------

2-3 浸水時期は?

合計	()日()時間
----	-----------

2-4 家屋に流出した部分がありましたか?

1. ない	2. ある	延床面積()m ²
-------	-------	-----------------------

2-5 テレビやタンスなど家庭用品を安全な場所に移動させましたか?

1. ほとんど移動した	2. 一部移動した	3. 移動できなかった
-------------	-----------	-------------

「1.ほとんど移動した」「2.一部移動した」と回答した方にお尋ねします。移動したものは安全でしたか?

1. 安全だった	2. 一部被害を受けた	3. 被害を受けた
----------	-------------	-----------

家屋 調査票の記入例

3. 家屋の被害についてお尋ねします。以下の「記入上の注意」をお読みになりご記入下さい。

なお、被害のなかった方も対象となりますのでご記入ください。

【記入上の注意】

(イ) まず、「非木造家屋用」の該当する方をお選び下さい。また、敷地の中に複数棟立地する場合は、主な1棟を対象として下さい。

(ロ) 家屋の「構成部分」の該当する番号に○を付けて下さい。

また、屋根や内壁、あるいは外壁等で複数の構成部分がある場合は、面積割合を構成比としてパーセント(%)で記入して下さい。この場合、面積の大きいもので代表させてもかまいません。

(ハ) 該当する「被害の程度」欄の記号に○を付けて下さい。

(ニ) 被害の程度で該当するものがない場合には、「その他」の欄に被害状況を記入してください。

記入例

敷地の中に複数棟立地する場合は、主要な1棟を対象として下さい。

面積割合を(%)で示してください。

あるいは、面積の大きいもので代表させてもかまいません。

家屋の構成部分 該当する番号に○ を付けて下さい。	構成比 (%)	被害の程度 (該当する記号に○を付けて下さい。)						木造家屋用 (木造モルタル造を含む)	その他 (被害状況)
		ハ、20～30%程度損傷	ハ、20～30%程度損傷	ニ、50%程度損傷	ホ、70%程度損傷	ハ、ほぼ100%損傷	その他		
1. 瓦葺	100	イ、損傷無し	ロ、軒先瓦等一部損傷	ハ、20～30%程度損傷	ニ、50%程度損傷	ホ、70%程度損傷	ハ、ほぼ100%損傷		
2. 亜鉛鉄板葺		イ、損傷無し	ロ、ペンキ剥離 さび発生	ハ、20～30%程度損傷	ニ、50～60%程度損傷	ホ、70～80%程度損傷	ハ、ほぼ100%損傷		
3. スレート葺 アスファルト シングル葺		イ、損傷無し	ロ、表面汚染 一部亀裂	ハ、一部破損	ニ、50%未満破損 下地板50%未満破 損	ホ、50～70%破損 下地板50～100% 破損	ハ、屋根葺、下地板共に ほぼ100%破損		
4. まさ葺		イ、損傷無し	ロ、釘ゆるみ、まさ板 一部破損	ハ、30%未満損傷 下地板一部腐朽	ニ、30～50%未満損傷 下地板30%程度腐 朽	ホ、50～70%破損 下地板30～70% 程度腐朽	ハ、100%破損		
5. その他		イ、損傷無し	ロ、一部損傷	ハ、30%未満破損	ニ、30～50%未満損傷	ホ、50～70%未満損傷	ハ、100%程度損傷		
1. モルタル塗	60	イ、損傷無し	ロ、表面汚染	ハ、一部亀裂 一部剥落	ニ、剥落30%未満	ホ、剥落50～70%程度 損傷	ハ、剥落ほぼ100%		
2. 板張	20	イ、損傷無し	ロ、表面汚染	ハ、釘ゆるみ 一部損傷	ニ、20～30%程度損傷	ホ、50～70%程度損傷	ハ、ほぼ100%損傷		
3. 漆壁	10	イ、損傷無し	ロ、表面汚染	ハ、亀裂50%未満 中塗露出30%未満	ニ、中塗露出50%程度 木舞(木摺)露出 30%未満	ホ、50～70%程度木舞 (木摺)露出	ハ、ほぼ100%剥落	ひっかいたような傷が 面積の半分程度ある	
4. スレート		イ、損傷無し	ロ、表面汚染	ハ、一部亀裂 一部剥落	ニ、30～50%程度破損	ホ、70%程度破損	ハ、ほぼ100%破損		
5. タイル・石張 その他	10	イ、損傷無し	ロ、目地一部損傷	ハ、目地一部損傷、 タイル、石等一部 損傷	ニ、タイル、石等20 ～40%程度剥落	ホ、タイル、石等50 ～70%程度剥落	ハ、タイル、石等ほぼ 100%剥落		

家屋(木造) 調査票 1/2

*木造家屋の方のみ、ご記入ください。

家屋の構成部分 該当する番号に○を 付けて下さい。	構成比 (%)	被害の程度 (該当する記号に○を付けて下さい。)			その他 (被害状況)		
基礎	1. 布基礎	イ. 損傷無し	ロ. 一部不同沈下	ハ. 不同沈下 20~30% 未満	ホ. 不同沈下 50~70% 程度	ヘ. ほぼ全面的に不 同沈下	
	2. 独立基礎	イ. 損傷無し	ロ. 一部不同沈下	ハ. 不同沈下 20~30% 未満	ホ. 不同沈下 50~70% 程度	ヘ. ほぼ全面的に不 同沈下	
柱	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 一部損傷 根もと一部腐朽	ニ. 損傷 30~70% 根もと 20~50%腐 朽	ホ. 根もと 70%腐朽 柱傾斜 30 分の 1 未満	ヘ. 根もとの全面的 腐朽 柱傾斜 20 分の 1	
	イ. 損傷無し	ロ. 軒先瓦等一部損 傷	ハ. 20~30%程度損傷	ニ. 50%程度損傷	ホ. 70%程度損傷	ヘ. ほぼ 100%損傷	
	イ. 損傷無し	ロ. ベンキ剥離	ハ. 20~30%程度損傷	ニ. 50~60%程度損傷	ホ. 70~80%程度損傷	ヘ. ほぼ 100%損傷	
	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染 一部亀裂	ハ. 一部破損	ニ. 50%未満破損 下地板 50%未満破 損	ホ. 50~70%破損 下地板 50~100% 破損	ヘ. 屋根裏、下地板共 にほぼ 100%破損	
	イ. 損傷無し	ロ. 釘ゆるみ、まさ板 一部破損	ハ. 30%未満損傷 下地板一部腐朽	ニ. 30~50%未満損傷 下地板 30%程度腐 朽	ホ. 50~70%破損 下地板 30~70% 程度腐朽	ヘ. 100%破損	
5. その他	イ. 損傷無し	ロ. 一部損傷	ハ. 30%未満破損	ニ. 30~50%未満損傷	ホ. 剥落 50~70%程度 損傷	ヘ. 剥落ほぼ 100%	
外壁	1. モルタル塗	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 一部亀裂 一部剥落	ニ. 剥落 30%未満	ホ. 剥落 50~70%程度 損傷	ヘ. 剥落ほぼ 100%
	2. 板張	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 釘ゆるみ 一部損傷	ニ. 20~30%程度損傷	ホ. 50~70%程度損傷	ヘ. ほぼ 100%損傷
	3. 塗壁	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 亀裂 50%未満 中塗露出 30%未満	ニ. 中塗露出 50%程度 木舞(木摺)露出 30%未満	ホ. 50~70%程度木舞 (木摺)露出	ヘ. ほぼ 100%剥落
	4. スレート	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 一部亀裂 一部剥落	ニ. 30~50%程度破損	ホ. 70%程度破損	ヘ. ほぼ 100%破損
	5. タイル・石張そ の他	イ. 損傷無し	ロ. 目地一部損傷	ハ. 目地一部損傷、 タイル、石等一部 損傷	ニ. タイル、石等 20 ~40%程度剥落	ホ. タイル、石等 50 ~70%程度剥落	ヘ. タイル、石等ほぼ 100%剥落
内壁	1. 塗壁(モルタル、 漆喰等)	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 亀裂 50%未満 中塗露出 30%未満	ニ. 中塗露出 50%程度 木舞(木摺)露出 30%未満	ホ. 50~70%程度木舞 (木摺)露出	ヘ. ほぼ 100%剥落
	2. 板、合板、テッ クス等、ポット類	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 20%未満損傷	ニ. 30~50%程度損傷	ホ. 70%程度損傷	ヘ. ほぼ 100%損傷
	3. タイル・石張	イ. 損傷無し	ロ. 目地一部損傷	ハ. 目地一部損傷、 タイル、石等一部損傷	ニ. タイル、石 20% 程度剥落	ホ. タイル、石 50% 程度剥落	ヘ. タイル、石ほぼ 100%剥落
	4. その他	イ. 損傷無し	ロ. 表面汚染	ハ. 一部損傷	ニ. 20~30%程度損傷	ホ. 50~70%程度損傷	ヘ. ほぼ 100%損傷

家屋(木造) 調査票 2/2

* 木造家屋の方のみ、ご記入ください。

家屋の構成部分 該当する番号に○を 付けて下さい。	構成比 (%)	被害の程度 (該当する記号に○を付けて下さい。)				その他 (被害状況)
造作		イ. 損傷無し	ハ. 敷居一部ねじれ、 鴨居一部たれ下 がり	ニ. 敷居、鴨居、長 押等の損傷	ホ. 敷居、鴨居、長押 等の損傷 50~70% 程度	ヘ. 敷居、鴨居、長 押等の損傷はば 100%
2. 洋室		イ. 損傷無し	ハ. 額縁、窓枠汚染 傷	ニ. 額縁、窓枠損傷 50%未満	ホ. 額縁、窓枠損傷 70%程度	ヘ. 額縁、窓枠はば 100%損傷
1. 板、合板、 テックス等、 ボード類		イ. 損傷無し	ハ. 一部損傷	ニ. 損傷 20~50%程 度	ホ. 損傷 70%程度	ヘ. 損傷 100%程度
2. 塗天井		イ. 損傷無し	ハ. 亀裂 50%未満	ニ. 中央部たわみ 中央露出 50%未 満 30%剥落	ホ. 50~70%剥落	ヘ. 100%剥落
1. 畳		イ. 損傷無し	ハ. 表面磨耗 穴あき 50%未満	ニ. 畳損傷 床組み一部損傷	ホ. 畳 100%損傷 床組み 70%損傷	ヘ. 床組み 100%損傷
2. 板張		イ. 損傷無し	ハ. 一部破損	ニ. 板 20~30%損傷 床組み一部損傷	ホ. 板 50~70%損傷 床組み 30~50%損 傷	ヘ. 床組み 100%損傷
3. タイル、石貼 等		イ. 損傷無し	ハ. 目地一部損傷 タイル、石一部 ひび割れ	ニ. タイル、石 20~ 40%剥落	ホ. タイル、石 50~ 70%剥落、床組み 30~50%損傷	ヘ. タイル、石 100% 剥落、床組み全面 的に破損
4. リノリウム、アスタ イル貼		イ. 損傷無し	ハ. 一部剥離	ニ. 50%程度剥離	ホ. 70%程度剥離 床組み 30~70%破損	ヘ. 床組みまで全 面的に破損
5. モルタル		イ. 損傷無し	ハ. 表面全面亀裂 一部剥離	ニ. 表面大部分剥離 床組み一部破損	ホ. 表面全面剥離 床組み破損 70%未 満	ヘ. 床組みまで全 面的に破損
6. 叩床(タイル、 石貼り)		イ. 損傷無し	ハ. 目地一部損傷 タイル、石一部 ひび割れ	ニ. タイル、石 40~ 70%剥離、下地コ ンクリート露出	ホ. 下地コンクリー ト 50~70%破損	ヘ. 下地コンクリー トまで全面的破 損
7. 叩床(リノ リウム、ア スタイル貼)		イ. 損傷無し	ハ. 一部剥離	ニ. 一部剥離、下地 コンクリート一 部露出	ホ. 70%剥離、下地コ ンクリート破損 70%未満	ヘ. 下地コンクリー トまで全面的破 損
8. 叩床(モルタ ル塗)		イ. 損傷無し	ハ. 表面全面亀裂 一部剥離	ニ. 下地コンクリー ト露出	ホ. 下地コンクリー ト全面露出、破損 70%未満	ヘ. 下地コンクリー トまで全面的破 損
建具		イ. 損傷無し	ハ. 一部建てつけ不 良	ニ. 20~50%程度破損 一部破損	ホ. 70%程度破損	ヘ. 100%破損
その他の部分 設備		イ. 損傷無し	ハ. 破損 20%未満	ニ. 30~50%程度破損	ホ. 70%程度破損	ヘ. 100%破損

家屋(非木造) 調査票 1/1

*非木造家屋の方のみ、ご記入ください。

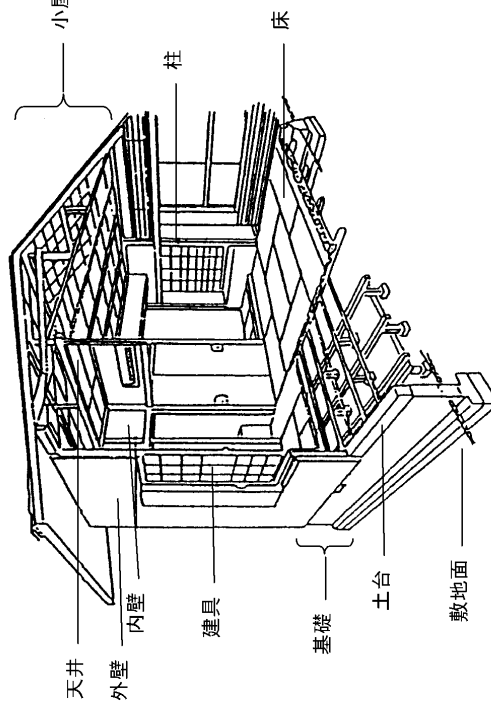
非木造家屋用
(鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、
鉄骨造、コンクリートブロック造、その他)

(木造家屋の方は記入しないで下さい。)

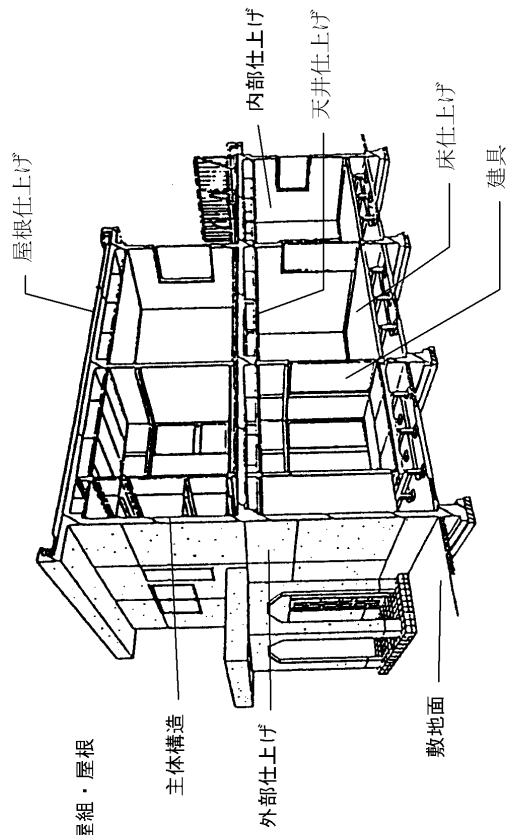
家屋の構成部分 該当する番号に○を付けて下さい。	被害の程度 (該当する記号に○を付けて下さい。)				その他 (被害状況)
	被覆コンクリート の半分程度が脱落	二、帯筋の相当部分が 断面欠損、傾斜の著しいもの	ホ、大亀裂を生じたもの、 主筋の部分的な取替が必要なもの	ホ、主筋の取替えが必要、 大亀裂を生じ、変形の著しいもの	
主体構造(柱、梁等)	イ、損傷無し 細かな亀裂が多少認められるもの	ロ、表面の崩落としやペンキ塗り替えが必要なもの	ロ、主要構造部の鉄骨の断面が1/2程度になつたもの	ホ、大亀裂を生じたもの、 主筋の部分的な取替が必要なもの	
2. 鉄骨造	イ、損傷無し	ロ、床のコンクリートが剥離したもの	ロ、小屋根が変形しているが修理可能	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
3. コンクリートブロック造、レンガ造	イ、損傷無し	ロ、細かな亀裂、目地亀裂	ロ、小屋根の取替えが必要なもの	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
外部仕上げ	イ、損傷無し	ロ、細かな亀裂、目地亀裂	ロ、表面の凹凸が著しいもの	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
内部仕上げ	イ、損傷無し	ロ、細かな亀裂、目地亀裂	ロ、表面の凹凸が著しいもの	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
床仕上げ	イ、損傷無し	ロ、細かな亀裂、目地亀裂	ロ、表面の凹凸が著しいもの	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
天井仕上げ	イ、損傷無し	ロ、細かな亀裂、目地亀裂	ロ、表面の凹凸が著しいもの	ホ、亀裂が深く、変質腐食が著しいもの	
屋根仕上げ	イ、損傷無し	ロ、防水層押えに亀裂のあるもの	ロ、防水層押えの浮き上がり、著しいもの	ホ、部分的に雨漏りを生じる、 防水層の浮き上がり、 風化、亀裂、 錆が著しいもの	
建具	イ、損傷無し	ロ、ゆるみ、金物修理が必要なもの	ロ、部材の折損、部分的な錆が著しいもの	ホ、歪曲、錆が著しく、 修理不能なもの	
電気	器具・配電盤等	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ホ、器具・コードの全面取替え必要	
	配線	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
給水(配管・器具等)	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
排水(配管・器具等)	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
衛生(配管・器具等)	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
ボイラー空調設備	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
浄化槽	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換(被害軽微)	ハ、部品交換	ニ、全面取替え必要	
備運 搬 設	エレベーター ダムウェーター エスカレーター	ロ、ハネの腐み、塗り替え等軽微なもの	ロ、モーターの取替えが必要	ホ、全部の取替えが必要	
その他()	イ、損傷無し	ロ、部品一部交換	ハ、部品交換	ニ、全部取替え必要	

家屋構造図解

木造



非木造 (鉄筋コンクリート造)



家庭用品(家具・電気製品) 調査票の記入例

Ⅲ. 家具や衣類等の家庭用品についてお尋ねします。

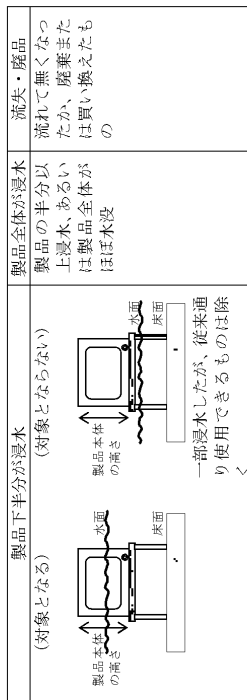
1. 家具・電気製品の所有数量と被害状況についてお尋ねします。〔記入上の注意〕をお読みにになり数字でご回答ください。

〔記入上の注意〕

「家具・電気製品の所有数量と被害状況」は、次の要領で記入して下さい。

(イ) 「全所有数量」欄には、水害を受けた当時、現に所有したり、占有していた家庭用品の数量を品目ごとに記入して下さい。

(ロ) 「被害程度別被害数量」欄には、「全所要数量」欄に記入された数量のうち、下記の表の区分に従い記入してください。なお、被害数量は重複しないよう記入して下さい。例えば、製品下半分があるいは全体が浸水して廃品にしたものは、「流失・廃品」の欄に記入して下さい。



記入例

被害のないものも対象となります

家具・電気製品の所有数量と被害状況

品名	全所有数量	被害程度別被害数量	
		製品下半分が浸水	製品全体が浸水
1 電気冷蔵庫	1ヶ	1ヶ	ヶ
2 電気掃除機	2ヶ	ヶ	1ヶ
3 電子レンジ	1ヶ	ヶ	ヶ
4 ガステーブル(ガスコンロ)	2ヶ	ヶ	ヶ
5 ガス瞬間湯沸かし器	2ヶ	ヶ	ヶ
6 電動ミシン	0ヶ	ヶ	ヶ
7 電気ごたつ	2ヶ	1ヶ	1ヶ
8 石油ストーブ	3ヶ	ヶ	1ヶ
9 ガスストーブ	0ヶ	ヶ	ヶ
10 温風ヒーター	0ヶ	ヶ	ヶ
11 和だんす(作り付けを除く)	3ヶ	1ヶ	ヶ
12 洋服だんす(作り付けを除く)	2ヶ	1ヶ	ヶ
13 整理だんす(作り付けを除く)	1ヶ	1ヶ	ヶ
14 鏡台(ドレッサー)	1ヶ	1ヶ	ヶ

被害前に所有していたものうち、浸水あるいは流失・廃品にしたものについてだけ記入して下さい。

家庭用品(家具・電気製品、自動車・バイク等) 調査票

* ご記入ください。

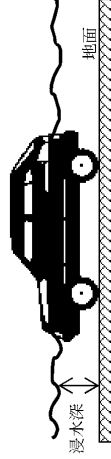
2. 家具・電気製品の所有数量と被害状況(該当する欄にご記入下さい。)

品名	全所有数量	被害程度別被害数量		
		製品下半分が浸水	製品全体が浸水	流失・廃品
1 電気冷蔵庫	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
2 電気掃除機	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
3 電子レンジ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
4 ガステーブル(ガスコンロ)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
5 ガス瞬間湯沸かし器	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
6 電動ミシン	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
7 電気こたつ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
8 電気ストーブ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
9 ガスストーブ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
10 温風ヒーター	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
11 和だんす(作り付けを除く)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
12 洋服だんす(作り付けを除く)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
13 整理だんす(作り付けを除く)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
14 鏡台(ドレッサー)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
15 茶だんす・食器戸棚	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
16 食堂セット(食卓と椅子のセット)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
17 電話機	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
18 書棚(作り付けを除く)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
19 カラーテレビ(20インチ未満)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
20 カラーテレビ(20インチ以上)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
21 ラジオカセット	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
22 ステレオ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
23 ビデオデッキ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
24 ビデオ、電子オルガン	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
25 パーソナルコンピュータ、ワードプロセッサ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
26 ルームエアコン室内機(ウィンドウ型含む)	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
27 ルームエアコン室外機	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
28 電気洗濯機	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ

2. 自動車・バイク等の所有数量と被害状況についてお尋ねします。
(記入上の注意)をお読みになり数字でご回答ください。

(記入上の注意)

「被害程度別被害数量」欄で浸水深とは品目下端からの高さです。
なお、被害数量は重複しないよう記入して下さい。例えば、浸水して廃品にしたものは「流出・廃品」の欄に記入して下さい。



自動車・バイク等の所有数量と被害状況(該当する欄にご記入下さい。)

品名	全所有数量	被害程度別被害数量		
		浸水深 50cm	浸水深 100cm	全体が浸水
29 自動車	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ
30 バイク・スクーター	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ

家庭用品(衣類等) 調査票の記入例

3. 衣類等の所有数量と被害状況についてお尋ねします。
〔記入上の注意〕をお読みになり、数字でご回答下さい。

〔記入上の注意〕

「衣類等の所有数量と被害状況」は、次の要領で記入して下さい。

(イ) 「全所有数量」欄には、水害を受けた当時、現に所有していた衣類等の数量を品ごとに記入して下さい。

(ロ) 「幼児・小学生用のもの」は含めないで下さい。

(ハ) 「被害程度別被害数量」欄には、「全所有数量」欄に記入された数量のうち、被害を受けた衣類等を下記の表の区分に従い記入して下さい。
なお、被害数量は重複しないよう記入して下さい。例えばは浸水して廃品にしたものは、「流失・廃品」の欄に記入して下さい。

浸水	流失・廃品
水害のため水に浸かったもの	流れて無くなったか、廃棄又は買い換えたもの

記入例

被害のないものも対象となります

衣類等の所有数量と被害状況 品名	全所有数量	被害程度別被害数量	
		浸水	流失・廃品
1 男子オーバー・コート類	5ヶ	1ヶ	2ヶ
2 男子背広(スーツ)	10ヶ	ヶ	ヶ
3 男子上着	3ヶ	ヶ	ヶ
4 男子ズボン	10ヶ	ヶ	ヶ
5 男子ネクタイ	15ヶ	3ヶ	5ヶ
6 婦人オーバー・コート類	3ヶ	ヶ	1ヶ
7 婦人スーツ	3ヶ	1ヶ	ヶ
8 婦人ワンピース	8ヶ	ヶ	3ヶ
9 婦人ブラウス	23ヶ	10ヶ	3ヶ
10 婦人スカート	12ヶ	7ヶ	ヶ
11 婦人黒礼服(洋服)	1ヶ	ヶ	1ヶ
12 婦人着物(浴)	2ヶ	ヶ	1ヶ
13 婦人着物(単衣)	3ヶ	ヶ	ヶ

被害前に所有していたもののうち、浸水あるいは流失・廃品にしたものについてだけ記入して下さい。

家庭用品(衣類等) 調査票

* ご記入ください。

衣類等の所有数量と被害状況(該当する欄にご記入下さい。)

品名	全所有数量	被害程度別被害数量	
		浸水	流失・廃品
1 男子オーバー・コート類	ヶ	ヶ	ヶ
2 男子背広(スーツ)	ヶ	ヶ	ヶ
3 男子上着	ヶ	ヶ	ヶ
4 男子ズボン	ヶ	ヶ	ヶ
5 男子ネクタイ	ヶ	ヶ	ヶ
6 婦人オーバー・コート類	ヶ	ヶ	ヶ
7 婦人スーツ	ヶ	ヶ	ヶ
8 婦人ワンピース	ヶ	ヶ	ヶ
9 婦人ブラウス	ヶ	ヶ	ヶ
10 婦人スカート	ヶ	ヶ	ヶ
11 婦人黒礼服(洋服)	ヶ	ヶ	ヶ
12 婦人着物(袴)	ヶ	ヶ	ヶ
13 婦人着物(単衣)	ヶ	ヶ	ヶ
14 婦人訪問着	ヶ	ヶ	ヶ
15 婦人留袖	ヶ	ヶ	ヶ
16 婦人喪服(和服)	ヶ	ヶ	ヶ
17 婦人羽織	ヶ	ヶ	ヶ
18 婦人和服コート	ヶ	ヶ	ヶ
19 婦人帯	ヶ	ヶ	ヶ
20 婦人ハンドバッグ(和・洋)	ヶ	ヶ	ヶ
21 セーター(男女共)	ヶ	ヶ	ヶ
22 靴(男女共)	ヶ	ヶ	ヶ
23 敷布団(客用含む)	ヶ	ヶ	ヶ
24 マットレス(客用含む)	ヶ	ヶ	ヶ
25 掛布団(客用含む)	ヶ	ヶ	ヶ
26 毛布(客用含む)	ヶ	ヶ	ヶ

防災情報に関する調査票 1/2

* ご記入ください。

IV. 防災情報に関してお尋ねします。

1. 今度、高潮による浸水が懸念される台風が接近する場合、どのような情報をいつまでに入手したいと思いますか? 下表の一番左の列に書かれた項目について、その必要性を真ん中の列に、情報を入手したい時点を一番右の列に記入して下さい。

項目	必要性 ◎特に必要 ○必要 △あまり必要ではない ×不必要	情報を入手したい時点 (浸水開始時刻を起点)
(例) 台風の進路予測	◎	6 時間前
お近くの海岸での潮位の予測値 (例: ○時間後の△△海岸の潮位は**m)		
お近くの海岸での波浪の予測値 (例: ○時間後の△△海岸の波高は**m)		
お近くの海岸で潮位が堤防の高さを越える見込み (例: ○時間後に△△海岸では潮位は堤防高を**m 越える見込み)		
お住まいの地区が浸水する見込み (例: ○時間後に□□地区は**m の深さで浸水する見込み)		

2. 少なくとも浸水の始まるどのくらい前に避難勧告を知らせてほしいですか? 下記の中から該当するものに○を付けて下さい。

30 分前、 1 時間前、 1 時間半前、 2 時間前、 3 時間前、 4 時間前、 6 時間前、 その他 ()

防災情報に関する調査票 2/2

*** ご記入ください。**

3. 避難勧告はどのような手段で伝えてほしいですか? 下記の中から希望する手段を選び、下の空欄に第3位まで記入して下さい。

テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話、町内会役員から口伝で、
町内会役員からの電話、役場職員の直接訪問、防災スピーカー、広報車、
その他 ()

第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----

最後に、今回の水害に関してご意見等ありましたら、自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。